

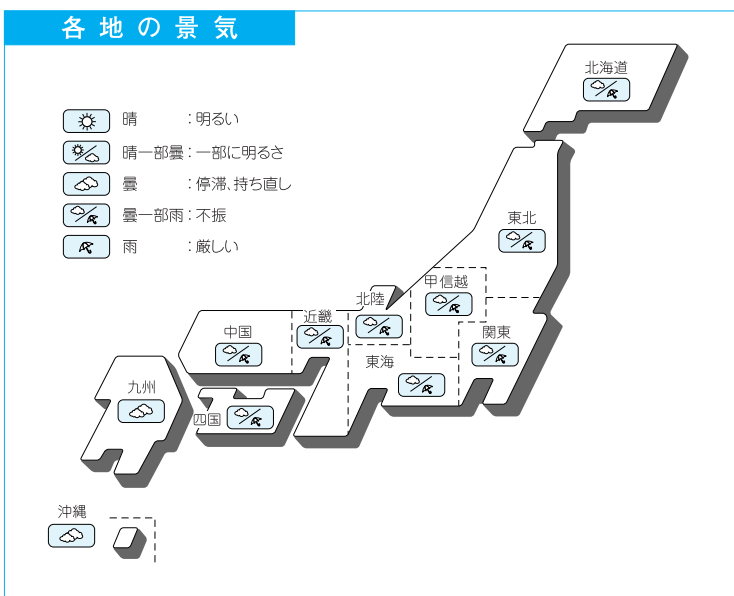
全国地方銀行協会

地方経済天気図

(平成24年11月発表分) から

景気は、輸出、生産の弱含みから、 足踏み感が強まっている

1. 各地の景況感



- 北海道、東北、近畿…生産は、金属製品、電気機械、輸送機械などに減産の動き。
- 関東、甲信越、北陸…乗用車販売がエコカー補助金の終了に伴い減少したほか、大型小売店販売も衣料品で振るわず、弱含み。
- 東海…生産は、電気機械、電子部品・デバイスが減少し、停滞。
- 中国…輸出は、欧州向けの自動車、アジア向けの化学製品が減少し、低調。
- 四国…輸出は、船舶が減少し、足踏み。



- 九州…生産は、金属製品、電気機械が減少し、弱含み。
- 沖縄…観光は、台湾を中心とする外国人客が増加したものの、台風の影響で国内客が減少し、持ち直しの動きが一服。

2. 隣接6県の「現在の景気」

「宮城県」

- 現在の景気：全体として景気は、震災復旧事業の増勢などに伴い経済活動は総じて高水準で推移しているが、一部に弱めの動きがみられるなど、回復のテンポは鈍化してきている。

「山形県」

- 現在の景気：持ち直しの改善ペースが鈍化。

「新潟県」

- 現在の景気：弱含み。

「群馬県」

- 現在の景気：横這い圏内で推移しているものの、一部に弱い動きがみられる。

「栃木県」

- 現在の景気：一部に弱い動き。

「茨城県」

- 現在の景気：横這い圏内の動き。

3. トピックス（東北・隣接県）

「青森県」

○震災で被災した八戸魚港の復旧工事が10月17日に完了。岸壁や船揚げ場などが修復され、漁港機能が完全に回復。県による復旧工事は、国の補助分が21件、県単独が21件、工費は約9億7,000万円。漁港以外の八戸港の復旧は現在も継続中。

「岩手県」

○JR 大船渡線の気仙沼－盛岡間43.7kmは、津波により線路が流出するなど大きな被害を受け現在も不通。線路を復旧させるためには、莫大な資金や長期間の工事を要することから、大船渡市などの沿線自治体とJR 東日本は、線路の一部をバス専用道として活用するBRT（Bus Rapid Transit：バス高速輸送システム）を導入する仮復旧案について10月に正式合意。今後、バスが運行するルートや発着時間などを検討し、早ければ来年3月までにBRTの運行を開始する予定。

「秋田県」

○10月1日、JR 東日本が県や市町村などと連携して、秋田県の魅力を全国に発信し県内への誘客を図る「プレ・デスティネーションキャンペーン」が始まった。12月末まで首都圏などで本県を集中的に宣伝し、県内では観光客を歓迎するイベントを開催。

「宮城県」

○県と仙台市など県内16市町は、総額7,726億7,300万円の第4次復興交付金を申請した。これを事業種別にみると、災害公営住宅が1,888億円、道路整備費が1,558億円、高台への集団

移転事業が1,602億円、農地関連整備は434億円などとなっている。市町村別では申請できる事業年度が平成27年度まで延びたため、気仙沼市（1,125億100万円）と女川町（1,078億8,000万円）の要求額が1,000億円を超えたほか、仙台市、石巻市、南三陸町など10市町村が100億円を上回った。

「山形県」

○経済産業省が発表した2012年上期の工場立地動向調査によると、山形県の立地件数は前年同期比横這いの7件。震災による被害の大きかった岩手、宮城、福島を中心に東北の他県が増加するなか、山形県は唯一の横這い。

「新潟県」

○東京商工リサーチがまとめた2012年度上半期（4－9月）の県内企業整理・倒産状況（負債総額1,000万円以上）によると、件数は前年比17件減の65件、負債総額は63.7%減の109億9,200万円と過去20年間で最少。政策効果で、倒産が低水準に抑えられている。

「群馬県」

○群馬経済研究所の「産業空洞化に対する県内企業の意識調査」（調査時期：7月中旬～下旬、有効回答：230社、回答率：43.2%）によると、回答企業の7割が現時点で産業空洞化を感じている。産業空洞化による弊害の有無では、「ある」と答えた企業が7割超。その内容は「売上低下・業況悪化」が89.3%と高い割合。産業空洞化への対応策では、「新規取引先の開拓」が74.0%と最多。

（出所：全国地方銀行協会地方経済天気図11月分より抜粋）

（担当：斎藤）